

# 学校林は

# 楽しい遊園地！

## 石南花号外

発行所 増富小学校PTA  
須玉町比志 3611-6  
発行人 増富小学校報道部



増富小学校 児童数9人  
(女子4人 男子5人)

増富小学校では学校林の整備を通して本校の児童が、森林の役割や重要性を学ぶことを目的に「学校林事業」に取り組んでいます。平成十五年度、学校東側の山林を「学校林」として新たに設置しましたが、この山林は塩川出身で甲府市在住の相原一雄様



平成十六年四月九日

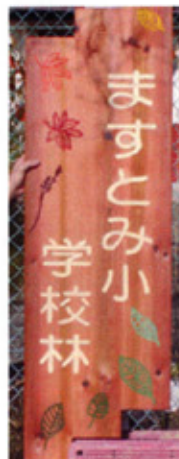
「学校林看板設置」

児童が彫刻刀を使い、一文字一文字でいねいに彫り上げた「ますとみ小学校林」の看板。文字の周りには児童が学校林で見つけてきた木の葉や植物を書き写し、それも彫り込みました。児童が彫り上げたものが、よく目立ち、また雨や雪などがよからぬようにとPTA副会長立白倉和由さんに立派な設置用の看板を作ってもらった。学校林の入り口



▲児童も設置作業を手伝いました。

から無償でお借りしているものです。昨年度は学校林事業の初年度ということで、子どもたちに使いやすい安全な場所を提供するため、間伐や地ごしらえなどの環境整備が主になりました。今年度は社団法人国土緑化推進機構および財団法人山梨県緑化推進機構の補助を受け、学校林を教育活動に幅広く活用することができました。学校から歩いて数分という抜群の立地条件を備えた学校林は一年間通した活動が可能になっています。平成十六年度の学校林活動の様子を紹介いたします。



平成十六年五月十九日  
「PTA親子学校林活動」



▲学校林入り口の下草刈り

あいにくの小雨模様の天候のため、全校児童、保護者、職員で学校林入り口の下草刈りを行いました。また、同じ日、学校林内に間伐材を使った階段を取り付け、子どもたちがより安全にかつスムーズに学校林に入れるよう配慮しました。短時間の作業でしたが立派な階段ができあがりました。

# 森をいかそう！ 森と暮らそう！

本校では「森をいかし、森と共存する」ため学校林で次のような活動を行っています。

### 間伐 (かんばつ)

間伐とは木を伐(き)って間引くこと。これを行わないと、木がこんだ森林では木の下に日光が入らず、森林の木はモヤシのようになってしまいます。また暗くて草も生えないため、表面の土は雨のたびに流されてしまいます。

### 植栽 (しょくさい)

木を植える作業のことです。苗木の乾燥を防ぎ、新芽が伸びる前に植えます。

### つる切り

クズやアケビなどつる性植物は、植栽木の天敵です。木の上に葉を茂らせ生長を抑え、巻き付いて幹を変形させ、ついには枯れさせてしまいます。つる切りは根の養分が少なくなる夏に行うのが最適です。

### 枝打ち

節のない丸太にする作業です。樹皮がはげやすい成長期(4月~9月)は避け、秋から冬に行います。

### 下刈り

小さな木の生長を邪魔する周囲の雑草や灌木を刈り払う作業です。

参考資料・財団法人山梨県緑化推進機構『森へおいでよ』

# 夏

平成十六年七月一・二日

「夏季施設(みずがきキャンプ)」

今年度の「夏季施設(みずがきキャンプ)」は今までとは、ひと味違うキャンプになりました。初日は恒例の瑞牆山登山を行いました。全校児童、保護者、職員で瑞牆山の頂上を目指し、見事に全員が登頂成功となりました。下山後は、初の試みとして学校の敷地でキャンプを行いました。



▲間伐材をたきぎに使いました。



▲何ができるかな？

キャンプ二日目は間伐材を活用した「クラフト作り」を行いました。小刀やキリ、ポンドを使って、思い思いの動物を作りました。今年度は学校林を百パーセント活用した思い出深いキャンプとなりました。